

## 平成19年度 課題文作成コンペ 設計趣旨

参加者番号 006番 大阪自主勉チーム

### ◇課題タイトル 『宿泊機能のあるものづくり体験施設』

コンセプト:豊かで楽しく賑わいのある環境体験学習施設

### ◇設計趣旨

- ・この施設は幅広い年齢層の地域住民がリサイクル活動や環境学習などを通じて地域交流が図れる計画とした。また、アトリウムを介して1Fのリサイクル体験工房の作業風景や展示品が見えるように配慮し、2階のものづくり部門の各所室とを視覚的に繋げ、かつ屋外からも繋がりをを持たせることによりこのアトリウムが施設全体の核として賑わいのある空間になるように計画をしました。

### ◇今回のコンペについて模範解答例提出までの感想

- ・今回のコンペ参加にあたり、人がたくさん集まるであろう休日に、近くにあるものづくり体験施設に施設見学に行きました。そこでは様々な体験工房があるにも関わらず、ほとんど利用されていない状況で施設全体が少し寂しい雰囲気でした。そこで今回のコンペの中で利用者を楽しみと感じさせるような空間を作りたい(提案したい)と考えました。
- ・その中で施設全体の王様は『ものづくり部門』ではなく全ての利用者が必ず利用する施設で一番太い動線である『共用部門』に設定をしたいと意識しておりました。また、隣地の公園→屋外リサイクル広場→アトリウムというストーリーを考え公園に散歩などに来た人達も施設に呼び込むような空間構成を併せてイメージしております。
- ・是非一度、この施設の1階にある交流ラウンジの椅子に座ってアトリウムから見える施設全体をイメージしていただけたらと思います。1階の奥にはギャラリーがあって展示品が並び、2階には談話コーナーでくつろぐ仲間達やラウンジで休憩をする利用者が見え、アトリウムを介して視覚的に施設全体の活動が伝わり、そして南側からの公園が少し見えながら太陽の光を取り入れた豊かで賑わいのある気持ちのいい空間が想像できるのではないのでしょうか？
- ・実際このプランまで至るには、大阪自主勉の角番メンバー全員が自分の中で大切にしたい計画もあり、せっかくのコンペなので出来る限り良い施設を計画したいなどの気持ちからなかなかまとまらなくて色々試行錯誤しました。その中でサンクンガーデンなどの色んな空間と組み合わせた計画を進めてゾーニングや動線の意識、そしてコア位置取りの検討まで様々なことを何度もチャレンジしました。この積み重ねによって今後課題文を作成し、課題と向き合うことに対しての良い糧になっていくのではないかと感じております。
- ・このコンペ案は大阪自主勉のメンバーが提案するH19年前半戦国語力開発講座を通じて学び感じ取ったことが『宿泊機能のあるものづくり体験施設』として反映できたと思っております。そして、施設を計画する楽しさを学んだとても良い機会でした。

以上